



満天 LETTER

2014年 vol. 2 関西インカレ情報号



目次

1. 近況報告・・・・・・・・・・2
2. 試合結果・・・・・・・・・・2
3. 関西インカレの展望・2
4. 情報提供のお願い・・6
5. 終わりに・・・・・・・・・・6

1. 近況報告

先日、行われた関西インカレ・ロードの部では、3選手が力走しましたが、力及ばず、チームとして得点を得ることが出来ませんでした。5月7日～10日にヤンマースタジアム長居(長居第一競技場)で行われるトラック&フィールドの部では、得点を確実に重ね、1部昇格できるように頑張ります。

2. 試合結果

第91回 関西学生陸上競技対校選手権大会

2014年4月22日 於:ヤンマースタジアム長居(長居第一陸上競技場)

ハーフマラソン 14位 吉田 広輝(経・2) 1:10:03
16位 水野 光(医・3) 1:10:10
26位 松井 健太(M2) 1:12:28

3. 関西インカレの展望

短短 パート長 後藤 佑介

100m に長野(M2),山本(M1),和田(工・3)が、200m に出口(M1),藤原(基・2),高塚(工・2)が、110mH に後藤(工・3),安田(理・3),井上(外・2)が、4×100mR に長野、藤原、高塚、秋本(理・4)が出場します。例年よりも走力が充実した状態で関西 IC に挑む短短パートは、110mH だけではなく、100m,200m でも得点を狙います。4×100mR も、個々のレベルが高いので、例年以上の結果を期待できます。

短長 パート長 秋本 耕作

400m 秋本(理・4)、尾野(文・3)が出場します。48秒台の自己ベストをもつ秋本は、昨年の決勝に行けなかった悔しさをバネに必ず決勝に進み、上位入賞を狙います。尾野は今シーズンすでに2度自己ベストを更新しており、さらなる記録向上が期待できます。

400mH 宇畑(工・3)が出場します。宇畑がA標準をきることができず、1名のみ出場となりました。しかし、400m で自己ベストを更新し上り調子ですので、関西インカレで本業の400mH でも自己ベスト更新し、決勝進出、ひいては上位入賞を期待しています。

4×400mR 秋本(理・4)、尾野(文・3)、山田(M1)、加納(基・2)、原(M1)、藤原(基・2)がエントリー。今季のマイルメンバーは例年とは一味違います。48秒台の秋本、先日の大阪三大学で49"02を出した高塚(200m にエントリーしているため、リレーにも出場可)、49

秒後半で今のりにのっている尾野、50秒前半の自信家で負けず嫌いの藤原。今年こそは必ず近年見ることのできていない3分20秒切りを達成し、上位入賞。そして、満天下記録にも近づく走りを行います。

中距離 パート長 松山 真也

800m 松山(経・4)、田中(工・4)、藤(工・3)の3人が出場します。松山は就活を終え調子を戻しており、田中は毎年怪我に悩まされてきましたが、今年はしっかりと練習を積んでいます。藤は今シーズンまだ本調子ではありませんが実績は十分あります。全員が決勝に進むだけの力を持っており、複数入賞を期待します。

1500m 昨年同様酒井(M1)、大竹(工・4)、三根(基・3)の3人で挑みます。酒井は研究や就活で多忙の中でもやはり実力があり、入賞が期待されます。大竹、三根はともに怪我に悩まされていますが、ランキングは上位に位置しており、表彰台を目指します。

長距離 パート長 大竹 宏明

5000m 1500mと同じ酒井、大竹、三根の3人が出場します。5000mは2部でもレベルが高く、厳しい状況ですが最後まで食らいついて、なんとか得点を獲得します。

10000m 酒井、大竹、水野(医・3)が出場します。3人とも他の種目を走っていますが、最終日なのですべての力を出し切って最後まで走りきります。

3000SC 1500mと並ぶ大量得点の可能性のある種目です。吉田(経・2)は下級生ながら冬季練習はロングパートを引っ張り、しっかりと練習を積んでいるので、上位入賞が期待できます。森田(基・4)は昨年入賞しており、1年間の練習の成果と4回生の意地を見せてくれると信じています。飯尾(人・4)はエントリーの締切直前に標準記録を突破し、勢いに乗っています。1年近くの留学で体力を落としていましたが、ようやく本来の実力を取り戻しつつあり、なんとか吉田と森田に食らいついて、3人全員の入賞を期待しています。

競歩 パート長 山口 正洋

10000mW 好調の田中(医・6)、主将の山口(経・4)、元会計の小林(工・4)が出場します。田中と山口は得点争いに絡みますので、冷静なレースをし、2人で10点もぎ取ります。

跳躍 パート長 宮崎 雄大

跳躍は学部生から院生まで幅広い選手が集まり、高レベルの記録を保持しています。前回大会優勝者が2人もおり彼らの活躍が期待されます。また、今大会では2番手、3番手が得点をし、跳躍での得点はきっちり取りたいと考えています。

走高跳 田谷野(工・3)が出場します。今回の大会では昨年よりも標準記録が上がり、本学からは1名のみ出場となりました。しかし、田谷野は自己ベストと同等の記録を出せば十分に得点することができます。

棒高跳 高橋(M2)、宮崎(工・4)、増谷(基・4)が出場します。高橋は長年出場しており経験もあります。また、今シーズンも安定した跳躍で好記録を出しており優勝争いに絡みそうです。宮崎は今シーズンもベストを出しておりこの調子で得点を狙います。増谷は怪我からの復帰をとげ、まだまだ上り調子の跳躍をしており、こちらも得点を十分にねらえます。

走幅跳 西田(M2)、渡辺(工・3)、小口(基・2)が出場します。渡辺に関しては前回優勝しており、今シーズンもうまくまとめて好記録を出しています。必ず優勝してくれるでしょう。西田も前回大会入賞しています。今シーズン忙しい時期もありましたが前回大会よりも必ずや得点を伸ばしてくれるでしょう。小口は初出場となります。彼は今シーズン、自己ベストを更新しており、得点圏内です。

三段跳 勢力(D2)、村井(M2)、渡辺(工・3)が出場します。勢力は前回大会優勝しており、体の調子さえ戻れば今大会も十分に優勝が狙えるはずです。渡辺は今シーズン好調です。記録更新し優勝争いできるのではないのでしょうか。村井は長い怪我からの復帰で復調してきています。自己ベストは15mを超えていますので怪我の調子もありますが、シーズン記録を更新すれば十分に得点できます。

投擲 パート長 中澤 密

砲丸投 福井(M2)が出場します。福井は研究室で忙しく、あまり練習が積めていないので、ベストを狙うことは厳しいですが、入賞の可能性はあります。福井は学生最後の関西 IC なので、是非その可能性を実現してほしいです。

ハンマー投 崎(外・4)と布川(工・4)が出場します。崎は現在の資格記録でいけば入賞は堅いです。普段の記録会ではあまり記録は振るいませんが、昨年の七帝戦などの大きな試合ではしっかりとベスト近くの記録を投げるので、1点でも多く取れるように奮闘してくれるはずです。布川は最近の練習でグラウンドながらもベストを超える記録を連発しています。しかし今シーズンが始まって以来体調を考慮し、あまり試合に出場していないため、大幅の自己ベスト更新を披露していません。関西 IC では間違いなく自己ベストを投げて入賞してくれるでしょう。

円盤投 中澤(基・4)が出場します。中澤はファールが少し目立つため不安な部分もありま

すが、資格記録が 1 位であり、昨年のチャンピオンでもあるため、ファールさえしなければ優勝は堅いでしょう。また、中澤は大会記録まであと数十センチなので、ボーナス点を取って阪大の一部昇格に貢献してくれるでしょう。

やり投 中澤と神田(工・3)が出場します。中澤は資格記録が 1 位であり、昨年も関西 IC でベストを出して優勝しているため、今年も関西 IC も調整をして 70m という大台を超えたベストを出し、大会記録を出してくれるでしょう。神田は昨年の日本ジュニア選手権という全国クラスの大会で、大ベストを出し入賞しました。このような全国クラスの試合で結果を残し、なお今も肉体的にも技術的にも成長し続けているので、関西 IC に焦点を合わせ、ベストを更新し、中澤と高レベルの試合をして、ワンツーフinish を成し遂げてくれるに違いありません。

混成 パート長 北 悠太

十種競技 混成パートからは北(法・3)が出場。ランキングは 7 位であるが、今シーズンは自己ベストを連発するなど好調であり、さらに上位を狙うことも十分可能です。

女子 女子主将 馬越 茉鈴

今年、女子からは個人で 5 種目、さらに 4 継とマイルのエントリーをしています。女子は男子のように 1 部昇格といった明確な目標は持ちにくいのですが、各個人がこのような大舞台で己のもてる力を存分に発揮し自己ベストを更新していくことを目標に頑張ります。関西 IC というハイレベルな試合を戦い抜き、次の名阪戦や七帝戦での優勝につなげていきたいと考えています。応援よろしくをお願いします。

100m 馬越(工・4)が 4 回生にして関西 IC 初の 100m に出場します。昨年の七帝戦で自己ベスト(13"04)を叩き出し今回の出場権を得ました。他大学との力の差は大きいですが、最大限のパフォーマンスをして 12 秒台を狙います。

400m 短距離のエースである脇本(文・3)が関西 IC 三度目の 400m に出場します。冬季練習にしっかりと取り組むことができたので、大阪三大戦での活躍ぶりを関西 IC でも発揮し、昨シーズンからの目標である 60 秒切りをします。

800m 今シーズンの大阪 IC で見事に満天下を更新しました後井(外・3)が A 標準を突破して出場します。目覚ましい成長し続ける後井はさらに自己ベストを更新し、準決勝進出を目指します。

1500m B 標準を突破した後井が出場します。1 日目に行われるこの種目で結果を残し、

800m に良い流れを持って行きたいところです。この冬で着実に力を付けてきたので、自己ベストの 4'46"91 に迫る走りをします。

4×100mR 寺田(法・2)-脇本-山下(外・2)-馬越の新しいメンバーで走ります。4人ともこの春から調子を上げてきているので、昨年のレベルをはるかに凌駕し 50 秒前半を目標に力を合わせて頑張ります。

4×400mR 寺田-脇本-山下-森田(外・2)の 2 回生を中心したメンバーで挑みます。それぞれのパートで鍛えてきた持ち味とマイルに対する熱い気持ちをレースにぶつけ、4 分 10 秒切りを目指します。

走幅跳 馬越が昨年に引き続き出場します。大学から始めた種目ではありますが、安定した助走で 5m オーバーの跳躍をして 3 本の中でしっかりと結果を残します。

4. 情報提供のお願い

大阪大学陸上部では、毎年満天下に歴代記録を掲載しております。しかしながら、人の手で記録をまとめているということや過去の記録集やプログラムなどが残っていないことがあり、たびたび記録の間違いが発覚しております。

そこで、過去の記憶や過去の記録集、プログラムなどの情報をお持ちの方で名簿や歴代 50 傑の精度向上にご協力いただける方がいらっしゃいましたら、ぜひメール (info@osaka-u-athlete-club.com)にて情報提供をお願いいたします。

5. 終わりに

関西インカレは、5 月 7 日～10 日にヤンマースタジアム長居(長居第一競技場)で行われます。ご都合のつく方は是非応援にいらして下さい。

阪大陸上部公式ホームページも随時更新しておりますので、ぜひそちらもご覧ください。また、OB 掲示板も開設しております。情報交換の場としてお役立ていただければ幸いです。

公式ホームページ <http://www.osaka-u-athlete-club.com/>

OB 掲示板 <http://jbbs.livedoor.jp/school/25842/>

掲載内容についてのご意見、また配信停止の御希望等がございましたら、満天 Letter 編集係(manten.letter2010@gmail.com)までご連絡ください。

満天 LETTER 2014 年 vol. 2 関西 IC 情報号

発行 大阪大学陸上競技部(大阪府豊中市待兼山 1-1)

発行日 2014 年 5 月 1 日

編集責任者 土岐慧子, 東村果穂